



# 大いちょう

平成28年 7月 1日  
さいたま市立高砂小学校

高砂小学校だより 平成28年度 No.4

048 (829) 2737

## 「仲間と一緒に学ぶこと」

校長 石山 大介

今月の学校だよりの主人公は5年生です。

梅雨入り直後の館岩少年自然の教室は、天候に恵まれ全てのスケジュールを終えて無事に帰校することができました。登山では、出発時に小雨がパラついていましたが、やがて雲が消えて太陽が顔を出し、白樺やブナなどからの木漏れ日が原生林の地面に輝いていました。また、梅雨の季節には珍しく、湿度の低い風が汗を乾かして登山を快適なものにしてくれました。

そんな絶好のコンディションの下、全員無事の下山後は「登れた」「歩けた」という充実感が5年生一人ひとりの表情から伝わってきました。登ったのも自分、歩いたのも自分です。登山前には不安もあったでしょうから、できそうもないと思っていたことができたので達成感も一入でしょう。こうした体験を一つひとつ心に刻んでいくことは自信として残ります。後につながる貴重な学びです。

そしてもう一つ、何故自分ができたのかを考えると大切なことがあります。それは、仲間や周りにいる人との関係です。

険しい登り道も急な下り坂も、仲間の励ましや後押しがあったから歩けたのでしょうか。「大丈夫だよ」「もう少しだよ」「がんばろうよ」と、そんな言葉を仲間がかけてくれたから自分で「できた」のです。励ましや後押しの言葉が無かったとしても、仲間が周りについて同じ方向に歩いてくれたから「できた」のですね。

人は決して一人ではないのです。仲間と一緒にいてくれたからこそできたのです。登山をする5年生の列からは励まし合う声がたくさん聞こえてきました。最後尾でそれを聞いて、疲れを忘れしました。

大成功を納めた自然の教室。仲間と一緒にでなければ学べない大切な事を5年生と一緒に学んできました。

4月に着任して以来、本校の伝統の素晴らしさ、そして、保護者、地域の皆様の学校に寄せる熱い思いとご理解、ご支援を強く感じております。ありがとうございます。

間もなく長期の休みに入りますが、子どもたちの安全を心から願ってやみません。各ご家庭での指導をお願いします。地域の皆様、子どもたちの見守り、大変お世話になります。どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、8月に始まるリオオリンピックでは、日本の代表として10代のアスリートたちの活躍が期待されています。さいたま市の中学生もこのリオオリンピックに出場します。5年後の「東京オリンピック」、高砂小の皆さん、期待しています。